

教職コンソーシアム通信

# 学びの架け橋



人にまっすぐ。  
大阪教育大学

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 01 「教師にまっすぐ」修了式 | 05 加盟校出身学生・卒業生の紹介 |
| 02 リレーエッセイ      | 06 加盟校の取り組み紹介     |
| 03 交流事業の紹介      | 07 大学トピックス／編集後記   |

## 教師をめざす高校生育成プログラム 「教師にまっすぐ」修了式

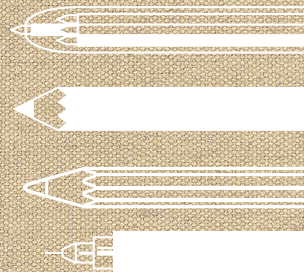
教師をめざす高校生が、志をより確かなものにするためのプログラム「教師にまっすぐ」修了式を、12月25日に行いました。





RELAY ESSAY

## リレーエッセイ



## 『きちんと学ぶ』ということ

大阪教育大学理数情報講座 町頭 義朗

高校生のみなさん、学校生活を楽しんでいますか？  
これを読んでくれているみなさんは、教員を目指している人がほとんどでしょうから、夢を持ち、その夢に向かって真っすぐに進んでいることでしょう。素晴らしいことだと思います。

わたしが高校生だった時は、特に夢もなく、好きな数学をもっと学べれば良いなというぐらいの気持ちでいました。大学に入る時も、これといった目標もなく、理学部数学科に入れば、もっと数学を学べるのだらうなと思った程度で、将来、どうするのかなんて、ほとんど考えていませんでした。運良く、自分の好きな道で生きていくことができ、本当に幸せ者だなとつくづく思う次第です。

大学に入学するためには、ほとんどの場合、入学試験がある訳で、新しい共通テストがどうなるのか不安に思っている方も多いことでしょう。つい先日、英語の民間試験の導入の見直しに引き続き、記述式の問題の出題も見送られることになりました。わたし達も将来の共通テストがどうなるのか、全く分からない状況です。

でも、特に数学に限って言えば、そんなに恐れる必要はありません。学校での数学をきちんと学び、きちんと解答できるようになることを目指していれば、必ず力がついていきます。マークシートであろうが記述式であろうが、また個別試験での証明問題などでも、恐れることは全くありません。

この「きちんと学ぶ」というところが重要で、次のような逸話があります。古代ギリシャ時代に、数学者ユークリッドがプトレマイオス王に幾何学を教えていて、なかなか理解できない王様が、「もっと簡単に分かる方法はないのか」とユークリッドに尋ねたところ、ユークリッドが「幾何学に王道はありません。」と答えたというものです。何人であろうが、幾何学を学ぶにはコツコツ勉強していくしかないということですね。

わたしの敬愛する作家の小川洋子さんは「博士の本棚」というエッセイ集の中で、次のように書いています。「秀才の答案用紙は何と美しいことであろうか。一切の無駄がなく、もちろん欠落もなく、毅然としてなおかつ慎ましやかでもあり、世界にただ一点しかない真実の場所を指し示している。」小川洋子さんは代表作「博士

の愛した数式」にも見受けられるように、数学者や数学の得意な人をかなり好意的に思っている方ですので、誇張した表現であるとは思いますが、我々が受験生の答案に期待することが概ね、集約されています。先生になりたい人も、そうでない人も、数学に限らず、どんな教科においても、この「きちんと学ぶ」ということを実践し、分かりやすく、無駄がなく、そして必要なことが全て述べられている解答を書くことを目指して下さい。これは入試のみならず、みなさんが今後、長い人生を生きていく中で、きっと役に立つことだと思います。

最後に1問、クイズを出して終わりにします。勉強やクラブ活動の合間に考えてみて下さい。

「14枚のコインがある。そのうちの7枚はそれぞれ10gで、残りの7枚はそれぞれ9gである。14枚のコインは大きさ、形が全く同じであり、見た目では区別できない。最初はコインにそれぞれの重さを書いていたのだが、友だちに全てのコインに色を塗られてしまい、重さを書いた文字が見えなくなった。色を塗った友だちは次のように言った。

『10gのコインには金色を、9gのコインには銀色を塗った。』

さて、友だちの言ったことが本当かどうか、天秤を3回だけ使って判定したい。どうすれば良いか。」

解けた人は、ぜひとも本学に入学して、わたしに分かりやすく説明して下さい。何か良いことがあるかもしれません(笑)

みなさんの今後のご活躍をお祈りしています。



町頭 義朗 まちがしら よしろう  
大阪教育大学理数情報講座教授





# 交流事業の紹介

EXCHANGE  
PROGRAMMES

## 大阪教育大学キャンパスガイド 2019 ～大教大をまるごと体験しよう!～

大阪府立高校42校が組織する府立高校教職コンソーシアム加盟校及び附属高等学校の高校生・教員を対象とした「大阪教育大学キャンパスガイド 大教大をまるごと体験しよう!」を10月27日(日)、柏原キャンパスで開催しました。総勢200人を超える生徒、教員、保護者が参加し、大教大応援団(学生ボランティア)が案内するクラブ活動・施設見学や大学の特別講義、大学生・教員・高校生によるパネルディスカッションや生徒の質問に答えるコーナーなど、大阪教育大学の魅力を体感できるさまざまな催しが繰り広げられました。

教育協働学科芸術表現専攻音楽コース学生と加盟校である夕陽丘高等学校音楽コース生徒による合同アンサンブルで幕を開け、華やかなムードの中、和田良彦副学長が歓迎の挨拶を述べました。大学紹介では、学生4人が大阪教育大学の魅力をプレゼンテーションした後、生徒らがグループに分かれて、体育館や就職支援を行うキャリア支援センターなどを見学し、食堂で学食体験をしました。

特別講義は文系と理系に分かれ、箱崎雄子教授(英語教育講座)による文系「発音の基礎・基本—これだけで英語らしく聞こえる—」では、英語らしく聞こえる発音の

ポイントとして、英米人は会話の際に口元をみているので口元への意識が特に必要であることを解説。生徒たちは、さまざまな英文をより英語らしく聞こえるように、一生懸命音読していました。町頭義朗教授(理数情報講座)による理系「論理と数理パズル」では、赤と白のカードを使い、他者のカードは見えるが自分のカードは見えない状況で自分の色を当てる「数理パズル」に挑戦しました。そのほか、「めざす教師像」をテーマにしたパネルディスカッションや、「大教大に入学してよかったこと」、「入試に向けた勉強法」など、高校生の質問に在学生在が答えるコーナーを実施しました。

参加した生徒からは「同じ高校出身の先輩と話をしたことで、大教大に入学して子どものことや教育について深く考えたいと思うようになりました」「大学受験について、たくさんの有益な情報を教えてもらいました。受験頑張ります」「今まで行ったオープンキャンパスの中で一番楽しかったです」という感想が寄せられました。また、参加した高校教員からは「大教大応援団の学生たちが素晴らしかった。多くの保護者の方にこの催しを見てもらいたいと思いました」との声が聞かれました。



在学生による大学紹介



キャリア支援センターの見学風景



箱崎雄子教授による英語の授業



町頭義朗教授による数学の授業



# 交流事業の紹介

EXCHANGE  
PROGRAMMES

## 未来の教員とともに育てる 府立高校校長らと意見交換会

大阪府立高校42校が加盟する「府立高校教職コンソーシアム」と大阪教育大学との意見交換会を、本学天王寺キャンパスで1月10日(金)に開催しました。

同コンソーシアムは、すぐれた資質を備えた時代を担う魅力ある「教員」を育てるために、「教員になること」を具体的にイメージできる機会を提供することを目的として結成されたものです。6年目を迎える今回の意見交換会は、同コンソーシアムから46人、本学から23人の計69人が参加しました。

栗林澄夫学長と大阪府教育庁の向畦地昭雄教育監のあいさつの後、教職教育研究センターの福永光伸教授が、教師を志望する生徒、興味のある生徒に、教師の魅力と大阪教育大学の魅力を伝えるミニオープンキャンパス「キャンパスガイド」や、高校生育成プログラム

「教師にまっすぐ」、教員の教師力を向上させる「教師塾」などの連携交流事業について報告しました。引き続いて、片桐昌直学長補佐(入学試験担当)より、本学の入試改革及び2019年12月に公表した学校推薦型選抜(特別枠)の概要について説明を行った後、意見交換しました。

出席した校長からは「教職コンソーシアムは平成26年末に結成以来、様々な事業を実施してきたが、大学側から教職コンソーシアムに対し意見や要望等があれば遠慮なく言ってほしい」といった声があがりました。

本学では、同コンソーシアムとこのような協議の場を定期的に設けることで、連携の強化を図るとともに、社会の要請に応じた事業を推進していく予定です。





# 加盟校出身学生・卒業生の紹介



とみなが え り

富永 依里 さん

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース1年生  
池田高等学校2018年度卒

## 一高校時代の思い出は？

クラブ活動です。放送部に入っていました。あまり人気のない部活で、少人数でいかに学校行事などの仕事を回すか、ずっと考えていました。その分無事に行事が終わったらとても達成感があつたし、わざわざそんな部活を選ぶ人たちの集まりだったので気が合う仲間も多く、とても楽しかったです。

## 一教師をめざしたきっかけは？

小学校1年生時の担任の先生にあこがれたのがきっかけです。当時は楽しいけどたまに厳しい先生、というだけの印象でしたが、あとから私たちの将来を見据えて役立つように授業の内容を考え、指導されていたことがわかって、あこがれるようになりました。

## 一小中教育専攻 国語教育コースの良いところは？

様々な価値観を持った人がいるところです。国語が好きで入ったコースなのに、こんなに違うのかと驚きます。また、文章を書いたり人前で話したり、表現することが得意な人も多いです。大学に入ればレポートを書くことや発表する機会は格段に増えますし、教職に就くには必須のスキルになりますが、苦手意識があっても友達に助けてもらえるので安心して練習できます。

## 一クラブ・サークルは何をやっていますか？

放送研究会に所属しています。入学式や卒業式、ホームカミングデーなどで司会をさせてもらえることもあるので、それを目標に練習しています。先輩後輩関係なく仲が良く、活動の頻度も個人で自由に設定でき、勉強との両立もしやすく助かっています。

いしだ たつき

石田 達樹 さん

学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース2年生  
夕陽丘高等学校2017年度卒

## 一高校時代の思い出は？

自治会という、いわゆる生徒会に所属していたのですが、そこで文化祭や体育祭の企画・運営に携わったことです。

## 一高校教員をめざしたきっかけは？

中学2年生のとき、勉強の楽しさに目覚め、人に教える機会が多くなったことがきっかけです。もともと学校という場所がとても好きなので、若い生徒たちがいる学校現場が刺激的に思えました。それ以来ずっと教員をめざしています。

## 一中等教育専攻 社会科教育コースのいいところは？

教職をめざしている友人と切磋琢磨できることです。自分の人生は自分で決めるものですが、やはり同じ目標を持っている人が身近にいることはとても心強いです。学習面で言えば、広く社会科の素養を学ぶため、自分の好きなジャンルやテーマを見つける機会があるということです。

## 一クラブ・サークルは何をやっていますか？

「よさこいソーランサークル凜凜」という団体に所属し、私は振り付けを担当する立場で、指導しています。約80名が所属する大きな団体を指揮することは大変で、サークルでありながら、よさこい祭りで入賞をめざすことは容易ではありません。しかし、その困難の先にはここでしか味わえない経験や達成感を味わうことができます。仲間たちと過ごす時間はかけがえのないもので、私はよさこいに陶醉してしまい、引退後もよさこいの社会人チームに入ろうか迷っているほどです。凜凜は私にとって大きな存在であると言えますね。

## 一おすすめの勉強法は？

暗記科目は丸暗記せずに社会なら流れを、英語や国語は語源や例文と一緒に覚えることを、理系の科目は仕組みを理解することを受験の時は頑張っていました。自分の言葉で自信をもって他人に説明できるようになると、テストでも思い出しやすくなるのでおすすめです。また、過去問や赤本で勉強するとき、模試を受けるときは結果に一喜一憂しないで傾向をつかみ、できなかったところの練習をするのが大事だと思います。自分ができないところは他人もできないから、克服すれば受験に受かりやすくなると思って頑張ってください。

## 一大教大のいいところは？

大教大のいい所は何よりも志を同じくする仲間がたくさんいるところだと思います。本気でいい先生になろうと努力している人が多いので、このような人が教員採用試験のライバルになるのかと思うと自分も身が引き締まります。また、しっかり勉強できる環境はかなり貴重だと思います。学内には図書館だけでなく、勉強するためのスペースがたくさん用意されていますし、スペースだけの話でなく、学生が主体となって行う勉強会など、たくさんの勉強する機会が準備されています。勉強しただけ勉強できるのも魅力の一つだと思います。

## 一大学生活を有意義に過ごすには？

大学生活は堕落しようと思うといくらでも堕落できてしまうので、なにか目標をもっておくのがいいと思います。勉強だけでなく、部活やサークル、ボランティア活動など、たくさんやることはあります。社会人になる前に、目一杯楽しむことを念頭に活動したらいいと思います。

## 一おすすめの勉強法は？

得意な社会科から言わせてもらおうと、まずは大まかな流れをつかむことが大切です。縦の歴史、横の歴史を見たり、点と点を結ぶ作業を重点的に行うことが必要です。その上で、反復であったり、深い学びを追求することで、効率的に学習できます。また、私は自分で穴埋め問題を作ったその答えを裏に用意して、解いたりしていました。自分なりに解釈し、噛み砕くことが出来れば人に説明することが出来る、それこそが学習の完成だと思っています。しっかりと意味や裏側まで追求し、自分の言葉に変換する作業を意識するといいいと思います。

## 一大教大のいいところは？

4年間を通した学校現場における実践的学修を行っており、指導案の作成方法や模擬授業が充実しているという点について、魅力に感じています。また、教職を志す仲間が近くにいることで、教育関連の情報が入手しやすいですし、恵まれた経験を積むことができます。

## 一大学生活を有意義に過ごすには？

新しいことに挑戦することですね。私は自然学校（学習の場を教室から自然の中へ移して実施する学校行事）へ行き、よさこいという新しい趣味を作って振り付けに挑戦し、様々な職種のバイトを経験しています。遊ぶことにも全力で、時にはオールで遊んでみたり、岐阜県在住の恋人を作った遠距離恋愛してみたり、思い返せば辛いこともありましたが、それらも全てよい思い出です。ただし、「何となく」で行動してはいけません。何のために行動しているのか、挑戦して何をしたいのか。そこが大事になってきます。





# 加盟校の取り組み紹介

MEMBER HIGH SCHOOLS' PROGRAMMES

## 大阪府立千里高等学校

### 「千里から世界へ 未来への航海」

本校は1967年に府内65番目の普通科高校として開校しました。開校以来、本校は常に時代を先取りするトップランナーとして、先進的な取り組みを実践してきました。2005年には国際文化科と総合科学科より構成される専門高校に改編されました。両学科とも国際社会で活躍する人材の育成を教育目標に掲げております。国際文化科ではSGH事業を柱としながら、グローバルな課題を社会科学的なアプローチで解決する人事育成を図り、総合科学科ではSSH事業を柱としながら、21世紀型科学者の育成を図り、科学の力でグローバルな課題解決できる人材の育成をめざしています。同窓会の調査によると、現在は国際関係機関で働く卒業生が50名を超えているとのこと。時代がどのように変化しても本校は常に、未来を見据えながら、社会に貢献するために必要な力とはなにかを考えて生徒の育成を図っていかうとしています。以下に本校の取り組みを紹介していきます。



### 国際文化科及び総合科学科共通の取り組み

- ▶ 1日7時間授業を行うとともに、知識習得型学習と探究型学習をバランスよく組み合わせることにより確かな学力を育成しています。
- ▶ 生徒全員が入学時にタブレットを購入し、普段の学習活動（例えば、英文法の反転学習）や研究活動（1・2年時に2単位ずつの課題研究）に効果的に利用しています。タブレットを活用しながら日本語や英語によるプレゼンテーションを行う機会を数多く設けることにより、高度な英語力とコミュニケーション力を育てています。2月に行われる千里フェスタではすべての生徒がパワーポイント等を使用して発表します。運営も生徒主体で行い、一般公開しています。
- ▶ 大学や研究機関との連携による学習、実験・実習、体験型学習等を多く実施することにより、学習に対する意欲・関心を高め、知識・スキルを活用する力を向上させています。

- ▶ 修学旅行に代わるものとして海外研修旅行に全員が参加します。また希望者を対象とした多くの海外研修プログラムを実施しています。



### 国際文化科の取り組み

キーワード：「深い国際理解で世界に発信する力を」

- ▶ 平成27年度より「スーパー・グローバル・ハイスクール」に指定され、グローバル人材育成の取組を推進しています。
- ▶ 5つのコンピュータ教室、英語ルーム、プレゼンテーションルーム、第2ライブラリーなどの先進的な施設。Wi-Fiが整備された各教室で大型モニタ、タブレット端末等をフルに活用した授業を行っています。またNETとのチーム・ティーチングによる4技能を高める英語授業も行っています。
- ▶ 1、2年生では「探究」の授業があり、SDGsの17の目標とからめながらテーマ別に探究し、論文の作成に取り組んでいます。



### 総合科学科の取り組み

キーワード：「科学の知識で世界に発信する力を」

- ▶ 観察、実験、実習を重視し知識の定着を図り、ICTの活用や多展開少人数授業を行っています。また個々の学習の成果を報告書にまとめ、発表することで文章作成力やプレゼンテーション力を育てています。
- ▶ 6つの理科実験室、専用のコンピュータ教室など8つの理科関連教室を整備し、少人数での実験・実習を行っています。
- ▶ 少人数クラスでネイティブ・スピーカーとチーム・ティーチングを行い、国際文化科と同様に実践的英語力の育成に取り組んでいます。
- ▶ 平成29年度より「スーパー・サイエンス・ハイスクール」に再指定され、グローバルな課題を解決する21世紀型科学者育成に取り組んでいます。



### 「アクションカード」を活用した 防災訓練を実施

大規模地震を想定した防災訓練を11月6日（水）に柏原キャンパスで実施しました。大阪府東部を南北に延びる生駒断層帯を震源とする震度6強の地震が授業中に発生したことを想定し、教育協働学科棟、事務局棟内にいる教職員ならびに学生約230人が参加しました。

地震発生後ただちに栗林澄夫学長の指示のもと災害対策本部を設置し、被害状況の情報収集、学生の避難誘導、負傷者の救護・搬送、消防署への通報と車両誘導、車いす利用者の避難、初期消火、危険防護、避難者への備蓄品給付、緊急放送に係る訓練を行いました。

現在、本学では緊急事態発生時の判断を導き、行動を促すために事前に準備しておく指示書である「アクションカード」の整備に取り組んでおり、今回初めて教員が実際にアクションカードを使って学生の避難誘導にあたりました。

本学では、この訓練での課題を洗い出してアクションカードを改善し、今後講義室に順次配置して、災害への対策を図っていく予定です。



### 大阪市と合築施設設置に 向けた基本協定を締結

大阪市と、「新・大阪市総合教育センター（仮称）及び連合教職大学院合築施設設置に向けた基本協定」を締結しました。調印式は1月31日（金）、大阪府役所市長公室で行われ、松井一郎大阪市長と栗林澄夫学長が協定書に署名しました。

大阪市とは、平成30年2月に「子どもの未来を拓く大阪市と大阪教育大学との包括連携協定書」を締結しています。その包括連携のもと、この2年間は大阪市の抱える教育課題への対応に取り組んできましたが、今回の協定は連携体制をさらに発展させ、連合教職大学院及び大阪市教育センターの機能強化を図るとともに、複雑化・多様化する大阪の教育課題に対応するため、天王寺キャンパス内に大阪市と本学の合築による新たな施設の建設をめざすものです。

栗林学長は、「今回の構想により、教育現場が直面する教育課題の解決とともに、これからの社会Society5.0（日本が提唱する未来社会のコンセプト）の中で起こってくる新しい教育課題に先導的に取り組む体制が構築できた」と自信を示しました。



## 編集後記

教員については、業務量の増加や多忙化等によるマイナスイメージが報道されることが多くなっています。教員をめぐす若者の減少という課題に対し、本学では2020年1月21日よりクラウドファンディング「教師の魅力向上プロジェクト～教師冥利に尽きるエッセイの公開・活用～」を開始し、2月21日に目標金額100万円に到達することができました。

本プロジェクトは「教師になって次世代の児童・生徒と一緒に日本の未来を創りたい」という若者が全国的に増えることを目的とするもので、全国から「教師冥利に尽きるエッセイ」を集め情報発信し、教師としてのやりがいや素晴らしさを再認識してもらうWebサイトを2020年6月に構築する予定です。もし良かったら、ご覧になって下さい。（U）

## 大阪教育大学のSNSアカウント



**公式Twitter**

@OsakaKyoikuUniv



**公式Facebook**

<https://www.facebook.com/OsakaKyoikuUniv>



**公式Instagram**

@osakakyoikuuniv

イベント情報やニュースなど、大教大の「今」を発信しています。ぜひフォローしてください。